



感情センシング・感情AIの社会実装/最新事例

2025年12月16日

株式会社エモーショナル・テクノロジーズ

With AI 社会
AIとの共創・共生・共進

Vision

「With AI社会」においてテクノロジーと
人間の感性の融合により世界中の人々の
幸福に貢献する

Mission

感情解析AIの力で人の心に寄り添う
テクノロジーを実現する

AIとデジタルの進化が進めば進むほど、
人間同士のコミュニケーションがより大切になっていきます。
相手の心がもう少し理解できたら・・・
当社はヒトの感性の中における「心の機微」に注目し、
研究を続けてきました。

機微とはノンバーバルの繊細な心の動きのことで、
人の気持ちのちょっとした変化を察したり想像したり、
また相手の変化を柔軟に捉え、共感し、相手に渡せるものを
丁寧に受け渡していく力になります。同時にそれは、
多様性および異文化受容力の土台となります。

ヒトは感情で行動し、理屈で正当化する生き物だそうです。
私たちは、人の感情を把握することにより、
人と人とのコミュニケーションギャップを少しでも解消し、
皆が寄り添う「心が温かい社会」を実現します。

Management

取締役・執行役員



西田 俊(Taka Nishida)／代表取締役 CEO

- ・ 野村證券(株)でトップセールスとして実績を積んだ後、IRコンサルティング会社を設立。上場企業向けの戦略策定や新規事業開発を担う。
- ・ 30年以上、資本市場事業に携わる。海外投資会社や英国投資信託会社でのアドバイザー歴任
- ・ 2021年(株)エモテック・ラボ参画
- ・ 2023年(株)エモーショナル・テクノロジーズ設立。代表取締役に就任
- ・ 中央大学 大学院修了(総合政策修士)



飯島 美帆(Miho Iijima)／取締役 CAO

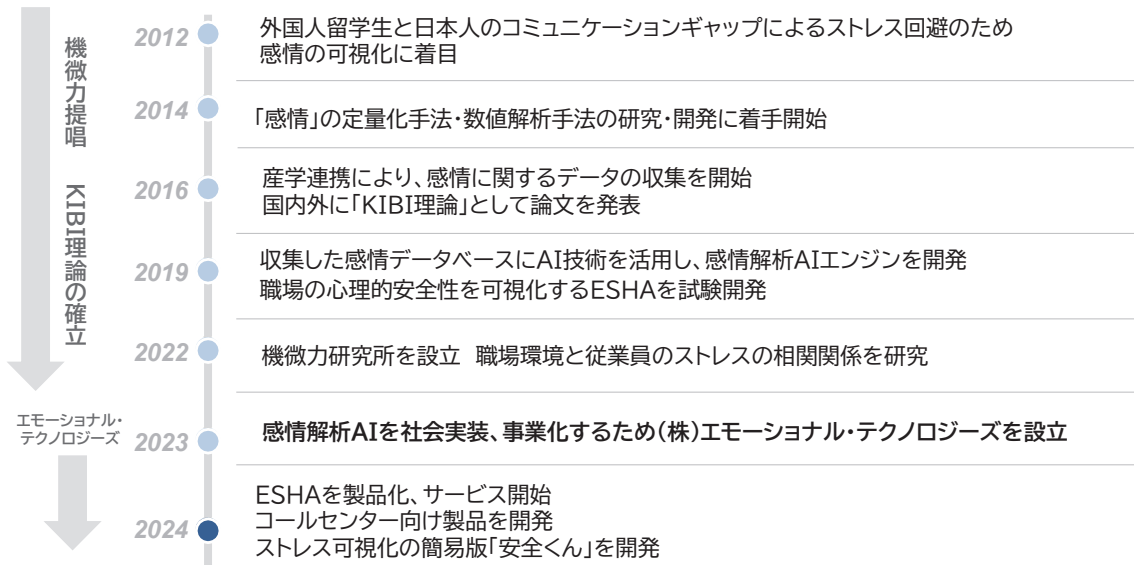
- ・ 大学卒業後(株)ジャパンスタイルデザイン(現(株)エモテック・ラボ)入社。「和」を特徴としたデザインのクリエイティブディレクターとして活躍。
- ・ 代表の山本氏とともに「KIBI理論」により職場環境と組織の生産性の相関関係を研究。
- ・ 2023年(株)エモーショナル・テクノロジーズ参画
- ・ 東京女子大学卒



山本 洋平(Yohei Yamamoto)／代表取締役 CTO

- ・ 大学院在学中より空気力学や感性工学などの可視化の研究に携わる。
- ・ 2004年 日本総合研究所入社
- ・ 2009年(株)ジャパンスタイルデザイン(現(株)エモテック・ラボ)設立
- ・ 10年間にわたる東京大学・千葉工業大学・東京工科大学との共同研究により確立した感情解析結果の可視化技術理論「KIBI理論」を提唱。世界各国の学会で実証され、感情認識分野の第一人者として評価されている。
- ・ 2023年(株)エモーショナル・テクノロジーズ参画
- ・ 上智大学 大学院修了

沿革



© Emotional Technologies Co.,Ltd. 2025 All Rights Reserved

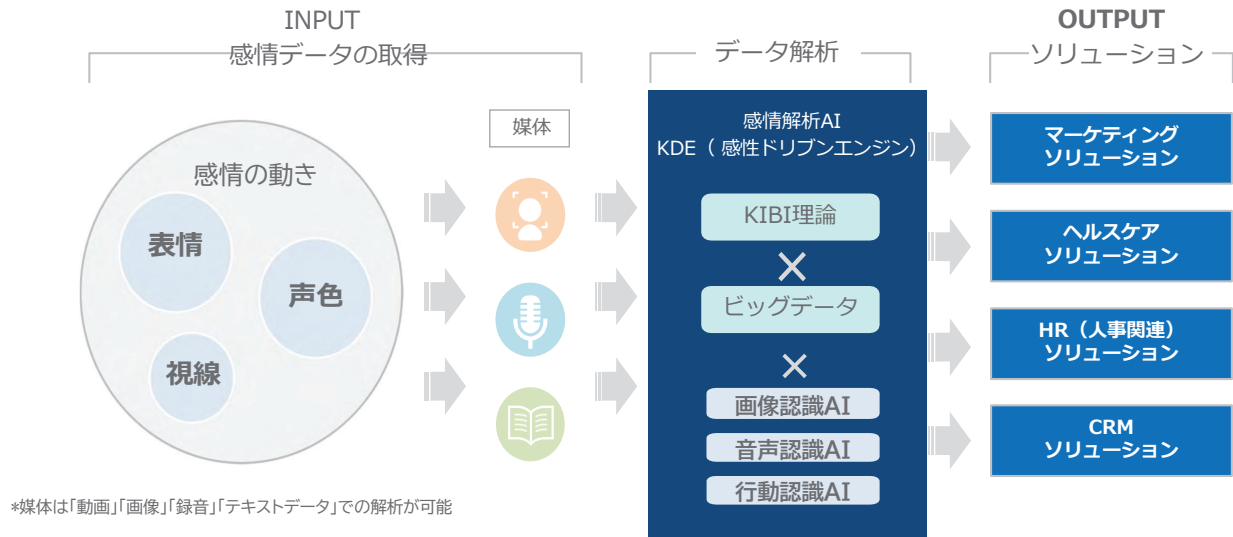
私たちのモデリング/可視化

- 1 1990年代
 - モデル化・シミュレーションの黎明期
 - ハード制約と理論的不確かさの中で、手計算と数式モデルに命を吹き込んだ時代
- 2 2000年代～
 - 数値シミュレーションが試作コスト削減手段として注目
 - CAEによる「試作の代替」が始まる
- 3 2010年代～
 - モデル精度向上、計算資源の向上により、リアルな現象再現
 - 製造現場と研究部門の垣根を越えた活用が進む
 - CAE・FEMの普及と共に、設計・試作コストのパラダイムシフト
 - 実験に替わる「仮想試作」が業務プロセスの中核に

90年代から現場で“モデリング/可視化の汗”を流してきた私たちだからこそ、感性・経験・判断という“暗黙知”を、意味ある形に変換できます。真の技術継承インフラの構築・ご提供。それこそが、私たちが提供する唯一無二の価値です。



感情解析の仕組み



© Emotional Technologies Co.,Ltd. 2025 All Rights Reserved

6

当社の優位性

01

可視化/
モデリング
技術

02

感情解析
技術

03

AIアーキテ
クチャ
設計力

© Emotional Technologies Co.,Ltd. 2025 All Rights Reserved

7

事業内容

1.AIソリューション

2.AIプロダクト

3.解析ソリューション

サービス内容

事業	事業内容
CRM・マーケティング事業	<ul style="list-style-type: none">■ リテールメディア・マーケティングの支援■ テレマーケティングビジネスの支援■ オンラインセールスの支援 <ul style="list-style-type: none">・ 感情解析AIソフトウェアを活用した消費者・顧客の購買感情の分析・ 顧客とオペレーターの感情交流可視化による生産性向上
HR	<ul style="list-style-type: none">■ 採用定量化事業■ ESHA■ SQテスト <ul style="list-style-type: none">・ 人事採用における定量化支援・ 採用面談動画解析・ 職場配属・配置の適正化・ 組織診断・心理的安全性の計測・社員の特性、タイプ診断・ 問診員による社員のメンタル状況の測定・分析による離職率低減
ヘルスケア事業	<ul style="list-style-type: none">■ 簡易版ストレスチェック■ 認知症早期検知■ 福祉施設向けソリューション <ul style="list-style-type: none">・ メンタルヘルス不調予備軍の早期検知・ 重度知的障害者施設との共同事業・ 介護士、看護師のストレス状況の把握
新規開発事業	<ul style="list-style-type: none">■ 感情解析AI技術を活用した事業の新規開発（進行中の提携先との共同事業有り） <ul style="list-style-type: none">・ ヒューマノイドロボットのアプリケーション開発・ 交通安全（AIドライバーズチェック、ドラレコAI解析）・ 認知症の早期発見・検知の技術の共同開発・ ペット分野、エンターテインメントツールへの導入・ セキュリティ対策技術の共同開発

空港監視カメラに導入した場合の メリット、可能性

不快指数検知による
最適空調制御

感情に応じた
コンテンツや
広告配信

不審者検知

不審者検知

満足度/快適性
チェック

利用者数カウント

オフィスカメラに導入した場合の メリット、可能性

従業員の
感情状態分析

職場環境の快適性

職場内の不満
やストレス検知

会議やミーティング
の感情反応

カーディーラー監視カメラに導入した場合の メリット、可能性



店舗監視カメラに導入した場合の メリット、可能性



商業施設監視カメラに導入した場合の メリット、可能性



公園監視カメラに導入した場合の メリット、可能性



レストランに導入した場合の メリット、可能性



戦略的パートナーシップ



ローカルデータ利活用

各企業様が有する“匠の技” “生きたデータ”を価値に変える。

1. 荏原製作所との共同開発
2. 重度知的障害者施設との共同事業
3. 交通安全(AIドライバーズチェック、ドラレコAI解析)
4. 妊活予測AIモデリング

自律分散型AIエージェント

「感情を理解するエージェント」で、人とAIの協働を進化させる。

- ・ エージェント同士が関係性を学習し変化する「分散型知能」
- ・ 自律的に感情・意図を判断
- ・ 組織・プロジェクトチームのAIマッチング補助

<ユースケース>

- ・ 採用・配属マッチング
- ・ 高齢者の行動・感情予測による見守り
- ・ 学習支援AI



**従業員向け
感情理解
AI Agent
サービス**

特徴

1. 従業員の福利厚生から能力 Up まで感情を考慮して支援
2. 一流の専門家のノウハウを AI Agent を通して活用可能
3. 従業員の特徴に応じたハイパーパーソナライズ
4. 勤怠・人事・給与データを活用した独自のスーパーアプリ (スコアリングが可能 (複数特許取得済み))

従業員のモチベーションアップおよび生産性アップにつながる Agent を提供 (日本 No.1 検索 Agent の Felo 等)

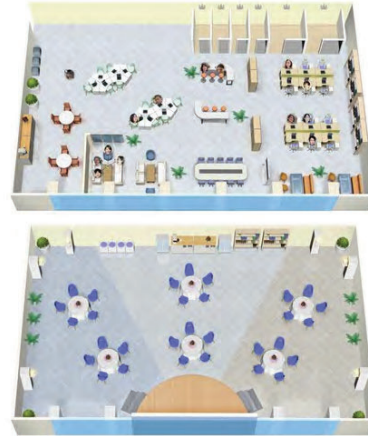
感情解析AI組み込み

40感情をリアルタイム解析し、人とロボットと空間を快適・魅力的に。

- ・ <当社感情AIの特徴>
- ・ ポジティブ・ネガティブ各20の感情を判別
- ・ 五感横断によるマルチモーダル解析
- ・ 感情を数値化し定性と定量の連成

<ユースケース>

- ・ ロボティクス with 感情解析AIの実装
- ・ リテールメディアへのエッジ搭載
- ・ 空間ごとの“快適さマップ”自動生成



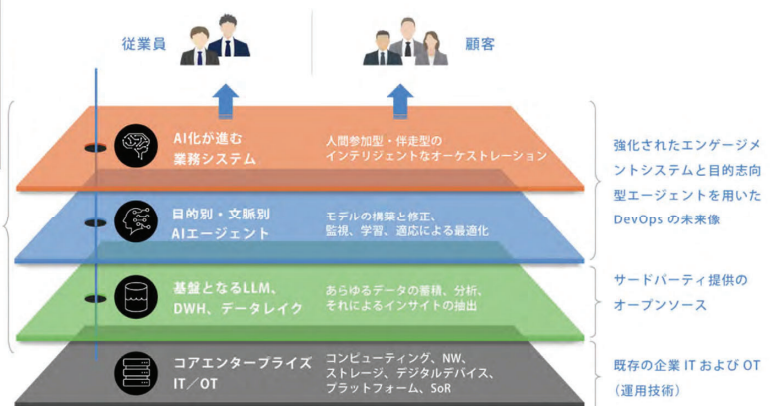
AIアーキテクト

社会実装へのコミットメント

<構想力 × 実装力>

- ・ DX/UX/CXプロジェクトの全体設計
- ・ 感情・文化・環境要素を統合するアーキテクチャ設計
- ・ 多様なエンジニアリングチームを巻き込む「共創設計力」

未来を見据えた
AIファーストなビジネス
のための多層構造アーキ
テクチャ



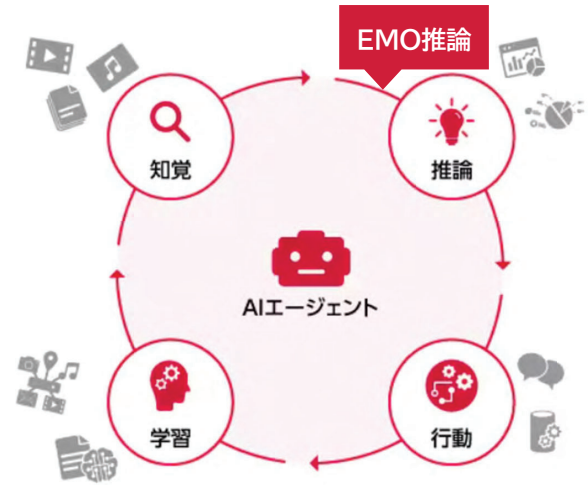
UX・CX/可視化

課題(Problem)

- ◆ 既存のCX/UXデザインにて、ユーザーの本当の感情やニーズをリアルタイムに把握しづらい
- ◆ 「無機質」「一方的な応対」を回避すべく、感情的な共感/適応のファンクションをdeploy

ソリューション(Solution) EMO推論

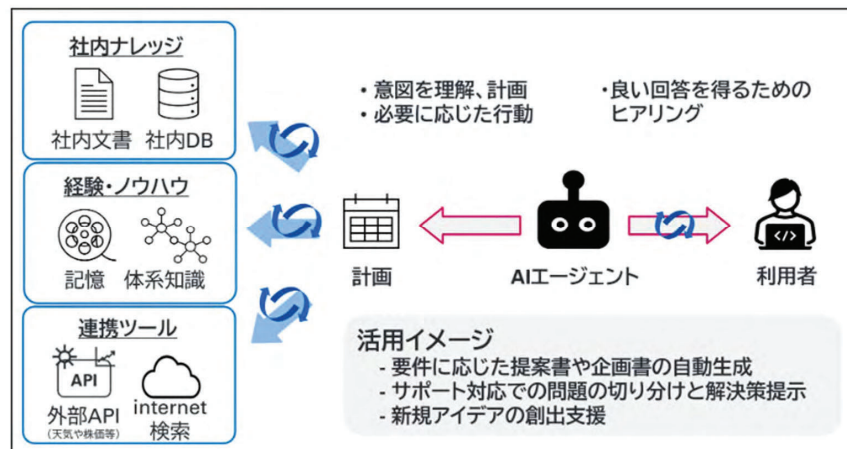
- ◆ 感情解析AIがリアルタイムでユーザーの感情を解析し、最適対応を導出・提供
- ◆ AIエージェントが「共感」と「適応力」を有し、パーソナライズされたUX/CXを実現



UX・CX/可視化

人間らしい対話を実現するAIエージェント(感情適応型)
特定業界(例:EC・金融・医療)向けに最適化

Felo様×当社の技術
群によって、UX/CX
デザインの市場で、独
自ポジションを確立
することが可能に



UX・CX/AIエージェント with 感情AI

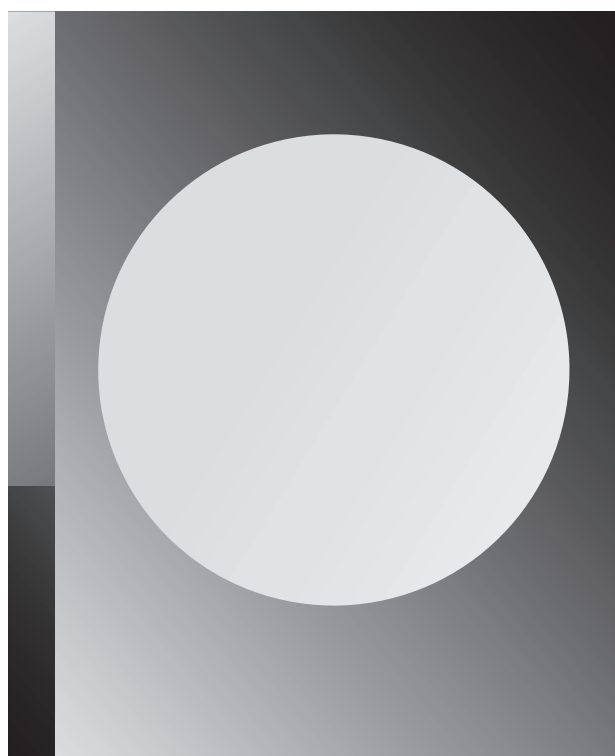
「AI is the New UI: Transforming Our Everyday」

AIが新たなユーザーインターフェース(ui)としての役割

AIがデバイスやアプリケーションの枠を超え、ユーザー中心の体験を提供する新たなUIとして進化。
技術がユーザーのニーズをシームレスに理解し、日常のタスクをプロアクティブにサポートする未来を牽引。

Felo様と当社によるAIパーソナライゼーションの推進

ユーザーの文化的背景や個々の好みに合わせたAI体験が可能となり、より自然で人間らしい
コミュニケーションを実現。AIがUXやCXを向上させ、人間の感情を理解し寄り添う技術として進化。
→アプリやソフトウェア、ロボット、AIエージェントが、ユーザーのニーズや感情に応じて
自然にカスタマイズされ、パーソナライズされたサービスを牽引・実現。



感情解析AI技術 について

その根拠となったのがKIBI理論です。

KIBI理論とは？

東京大学、東京工業大学、千葉工大の協力の協力を得て行った「機微力」の研究により確立した感情解析結果の可視化技術を体系化し、これに、コミュニケーション理論、行動心理学を高次元で組み合わせた理論です。

機微力とは？

日本人ならではの、人の気持ちのちょっとした変化を察したり想像したり、また相手の変化を柔軟に捉え、共感し、相手に渡せるものを丁寧に受け渡していく力になります。
同時に多様性能力および異文化受容力の土台となることが、官能評価試験、多変量解析、行動観察といった学術的見地からのアプローチにより明らかとなっています。

30万人を超える感情研究のデータベースにAIを活用して、人の感情を可視化する感情解析ソフトウェア（KDE）を開発しました。

感情構造と当社の感情解析の特徴

当社の感情解析の特徴

感情構造 ①

感情の構造はさまざまな要素によって構成されてる。
例えば、「楽しい」でも何種類かの「楽しい」があり、最低でも8つ以上の要素で構成されている。



ポジティブ20感情、ネガティブ20感情、それぞれの感情をスコア化し感情を測定

感情構造 ②

思考プロセスの95%は無意識のうちに起こる。
つまり感情も無意識のもの。また、コミュニケーションの大半は非言語による。



表情、動作、声の抑揚、話す時の態度、声のトーン（周辺言語と呼ばれるもの）など多面的なアプローチで測定・解析

感情構造 ③

感情は、心-脳-身体-社会、それぞれの要素間の相互作用によって生まれる。



社会学、文化人類学、認知神経科学、心理学などさまざまなアプローチから感情データを収集

当社の感情解析技術の特徴と優位性

世界で唯一無二のマルチモーダル型感情解析

01

画像、動画、音声、テキストによる精度の高い感情判定

02

複数の同時分析

03

リアルタイム分析

04

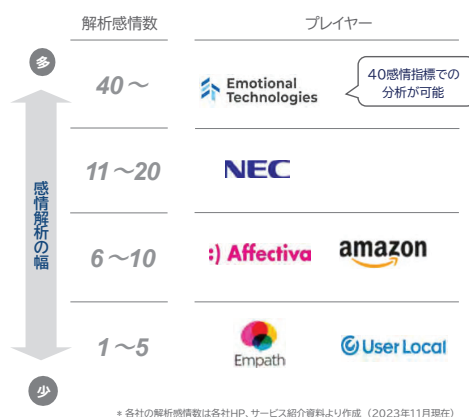
感情の要因分析

05

他の製品との組み合わせが容易

他社比較：きめ細かい40感情

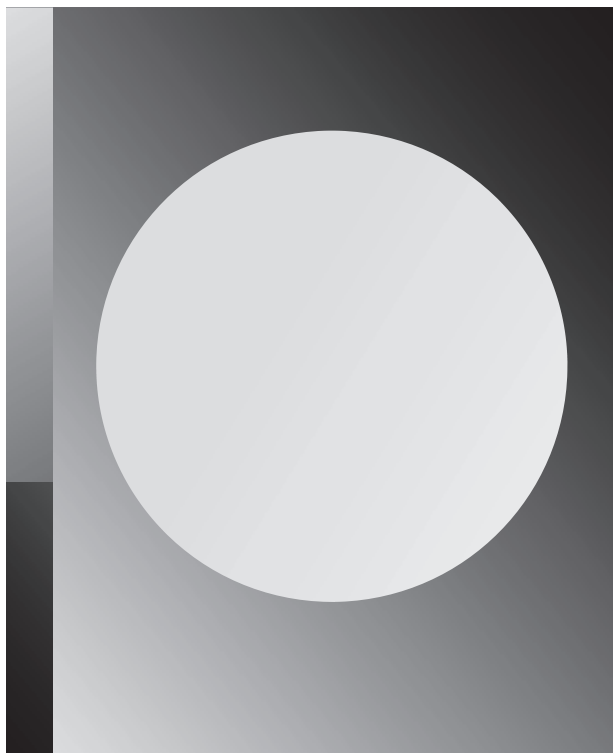
感情解析指標のプレイヤー比較



当社の感情解析指標

40種類の感情指標での表現により、より深い感情の動きを認識することが可能

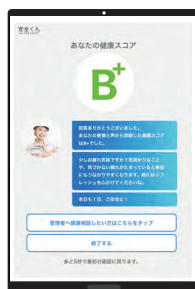
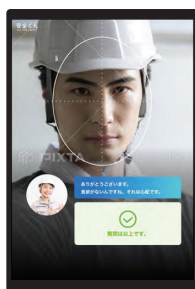




自社プロダクト

ヘルスケア領域

メンタル管理：現場作業の「事故リスク」を管理する「安全くん」



ストレスや寝不足など従業員の心の状態を日常的に把握し、不調があれば早めに対処することで事故率を低下させ安全管理を徹底する

対象業界：建設・建築、運輸・交通、看護
対象顧客：大手ゼネコン、運輸・物流、タクシー会社、関連企業、病院

「声と表情で答える」ことで、
従来のメンタルヘルス診断の10分の
1以下の回答数（3問程度）で毎日判定が可能

HR-Tech領域：ESHA

感情解析AIにより、組織の心理的安全性と個人の性格・ストレス指数を測定し、従業員のメンタル状況を解析

目的・効果

- 社員定着率の向上、離職率の低下
- 社員のメンタル改善
 - 社員のメンタル状況を可視化し、須知レスの原因を測定・分析し、離職傾向者の早期検知。改善プランを提案
 - メンタル不調者の早期発見
 - 職務適正診断による採用・配属の適正化。
 - 心理的安全性の可視化

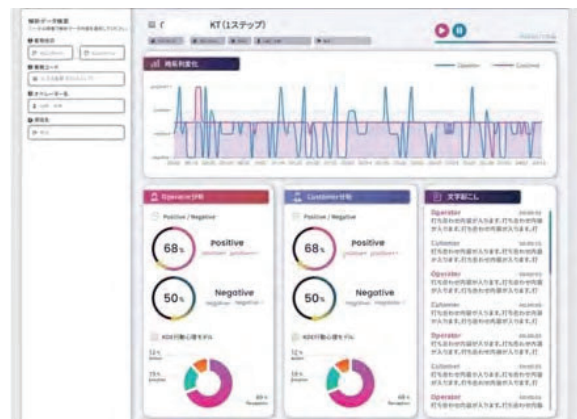


CRM領域：コンタクトセンターの業務効率向上

オペレーターと顧客の音声ログを感情解析AIにより解析し、最適な顧客対応体制を構築

目的・効果

- オペレータの質の向上による顧客満足度の向上
- 顧客とオペレータの感情交流プロセスの可視化
 - オペレータの評価の定量化
 - 優秀なオペレータログとの比較によるオペレータ教育
 - 感情交流による対応品質の向上
 - スクリプトの質の向上



マーケティング領域：来店顧客分析

店舗やデジタルサイネージに設置したAIカメラを介しての顧客感情・感覚の可視化・定量化

目的・効果

- 消費者の購買時感情に基づく購買行動予測
- 感情要素を取り入れた次世代型マーケティングの実践
- 位置情報、顧客属性、顧客感情の情報をインプットし、購買行動を予測
- 購入時の感情を起点とした購買行動に基づくマーケティング施策の実施
- 感情に連動したデジタル広告配信

来店顧客・棚前顧客の「感情」に着目



SQテスト（感受性テスト）

感受性テスト ～組織の未来を左右するマネジメント力を測定～



引用:「外資就活ドットコム」

AI時代の職場では、単なるスキルや知識だけでなく、チームの士気向上や円滑な人間関係の構築が求められています。本テストは、従業員や管理職の感受性を多面的な側面から測定し、マネジメント能力の向上をサポートすることを目的としています。

<活用のメリット>

- ✓ リーダー適性の評価
管理職候補の選定やリーダーシップ研修の指標として活用可能
- ✓ チームの最適配置
個々の強みを活かした役割分担に貢献
- ✓ 組織の生産性向上
対人関係のストレスを軽減し、働きやすい環境を構築

